

令和8年度 第2回 高尾山学園学校運営協議会 会議報告

- 1 開催日時 令和8年5月11日（月）午後3時から午後5時
- 2 開催場所 八王子市立高尾山学園 ランチルーム
- 3 出席者 工藤会長・野村委員・大槻委員・黒沢委員（途中退席）・鈴木校長
（事務局）山田副校長・佐野副校長・和田副校長・久保
（傍聴者）なし
- 4 欠席者 梶田委員 石渡委員 入江委員

5 進行内容

- 会長挨拶
- 学校長挨拶
- 報告事項

※学校の4・5月の様子について、スライドで説明する。

- 児童・生徒数および登校状況： 4月は92名でスタートし、5月に中学生が2名増え、計94名となった。4月の平均登校率は83.6%で、特に「講座学習」の紹介があった日は91.1%と高い出席率を記録した。一方で、疲れが見え始める時期には75%程度に下がる傾向も見られた。
- 学習指導状況（教員）： 新規採用の教員（本山先生）や、2年目の教員（崎田先生）が周囲のサポートを受けながら順調に授業を開始している。また、新しい副校長が積極的に生徒の中に入り、良好な関係を築いている。
- 学習指導状況（児童生徒）： 小学部では男子児童が居場所を利用することが多くなった。一方で、中学部では相談室利用は減少し、授業に参加する生徒が増加した。
- 体験活動： 新緑祭は雨天のため中止とし、学年調理実習として実施した。5月では、中2の芦ノ湖・小田原方面、小学部の演劇鑑賞教室と高尾山の校外学習が予定されている。
- 視察・研修など： 5月は金沢市からの視察がある。また、6月には本校にて今年も安藤先生が講師として都の研修を実施する。

（質疑応答等）

→きよたき教室の利用率は、昨年度と比べて下がったような印象があるがいかがか。

（回答）例年どおり、50%前後の利用率である。

○協議事項

（1） 講座学習における館が丘団地と連携したキャリア教育

- 講座学習の活性化： サッカー、楽器演奏、デジタル活動、陶芸など多彩な講座が実施されており、生徒の意欲向上に繋がっている。
- 新プロジェクト（キャリア教育）：
講座で作った作物（大根など）やアクセサリを販売し、利益を生徒の活動（放課後カフェ等）に還元する仕組みを検討中。これにより、生徒の自己肯定感や「働くこと」への理解を高める狙いがある。（キャリア教育の取組）

→資金管理： 販売利益の管理については、他校の事例を参考に、学校運営協議会の口座を活用す

るなどの透明性の高い方法が提案された。

- 山で拾った散弾（ゴミ）をリサイクルしてマグネットにするアイデアが佐野副校長より提案された。環境学習や地域貢献の観点から検討を進めるが、銃弾という素材の特性上、印象に配慮し、その背景なども含めた事前学習を十分することが重要なのではないか、という意見があった。また、デザインや有効活用の方法まで子供たちに考えさせて、そのアイデアを（講座学習の範囲内で）商品化をさせてみてはどうか、という意見があった。

（２）児童・生徒の状況と支援について

- 小学部：
 - 暴言や授業離脱が見られる児童がいるが、特定の活動（ヨーヨーの練習など）には集中して取り組む姿も見られ、個別の興味に合わせた支援を継続している。
 - 近隣コンビニでの万引き事案が発生した５年生児童については、家庭環境の影響も考慮し、管理職・担任による保護者面談を実施する予定である。
- 中学部：
 - １年生の女子生徒で、幻覚・幻聴（ストーカー被害の訴え）の症状が見られるケースがあり、児童精神科の病院への通院が始まったところである。
 - ３年生の女子生徒で、情緒の起伏が激しく自傷のリスクがあるケースについては、心理相談員が密に関わっている。複雑な家庭環境もあり、関係機関との連携を継続中である。
- 専門員との連携： 教員と専門員の協力体制は概ね良好だが、きよたき教室ややまゆり教室間の連携において、より密な情報共有や役割分担の最適化について議論された。

（質疑応答等）

→小学部の課題のある児童は、講座への参加は意欲的なのか。

（回答）身体能力が高いため、活動には生き生き参加している。

（３）放課後カフェについて

資料のとおり 今年度は市内のしょこら亭がお菓子を寄付してくれる。

（４）高尾山学園サポート本部からの活動報告は次回行う。

（５）各委員より

→本日の職員面談を通して、小学校と中学校の教員の認識の差があることに気が付いた。教員の人手不足や課題のある子供の指導が大変とのこと。本日不在だった職員にも改めて話を伺いたいと思う。

→特別支援教室専門員の立場が難しいのではないか。きよたき教室ややまゆり教室の間に挟まれているため、専門員に対する要望が様々あるのではないか。また、生活指導についても地域の学校とは違い、指導が難しいことがあるのではないか。

→むしろ、要望が様々な、いろいろな考えの教員が協力して教育活動にあたっていることが大切なのではないか。

(回答) その中でも、子供たちはきちんと成長しているし、教員たちも、この学校に合わせた生活指導をしている。

次回開催予定 令和8年6月1日(月) 午後3時から午後5時まで
